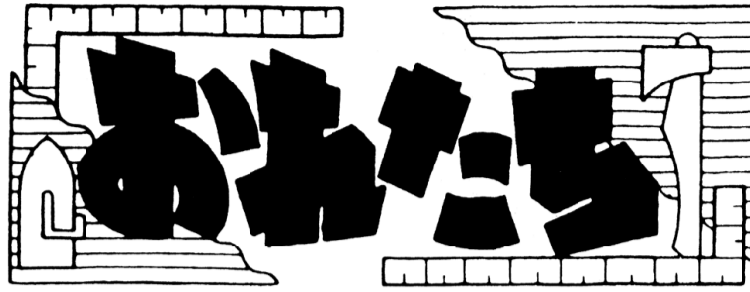


無料法律相談日の案内

8月16日(金)14時~16時

希望者は前日までに予約を

7月当初組合員数=1845人 (-5人)

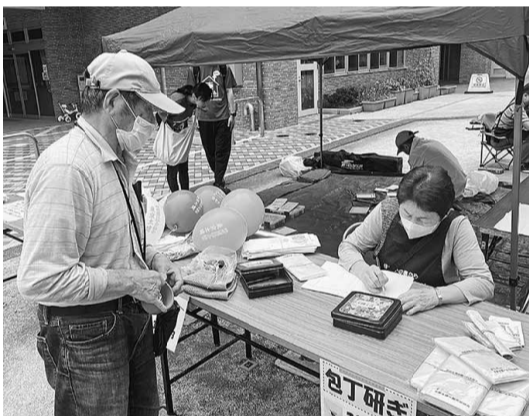


発行所
東京土建一般労働組合荒川支部
東京都荒川区荒川6-3-1
TEL(3892)9131 FAX(3892)9381
発行者・津田宗久/編集長・小熊賢一
<https://www.doken-arakawa.org/>

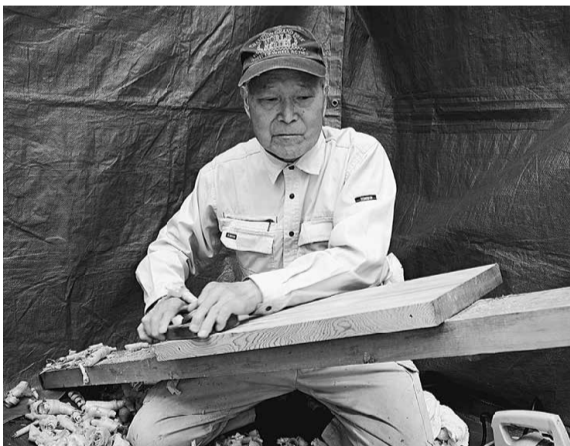
たくさんの子供で賑わう 第47回住宅デー 区内8会場に600人以上が来場



初の取り組みの勾玉アクセサリー作り



包丁研ぎも大盛況でした



西尾久分会によるまな板削り



一心不乱に金魚をすくいます

【仕事対策部発】6月16日に第47回住宅デーが荒川区内8カ所で開催されました。当日は早朝は雨が降っていましたが、準備を始める頃には雨も止んで、次第に晴れ無事開催することが出来ました。今回は、どの分会も飲食企画が減り、その分ポイントすくいやメダカすくい、木工教室など子供たちが体験して楽しめるような企画が多く、子供連れの来場者で賑わっていました。



荒川分会のめだかすくい



住宅相談も好評でした

【藤川直樹さん(東尾久1分会)】東尾久第一おもいやり分会は6月16日、尾久第一児童遊園と四西町公会館で住宅デーを開催しました。今回は新たに、勾玉アクセサリー作り体験を企画してみました。太古の昔の装飾品を近所の公園のテントの下で作れる素晴らしい企画で、多くの親子連れが楽しみました。包丁研ぎも例年通り好評で、4人の建設職人たちが午前中だけで71本に対応しました。防虫網戸の張り替えは2枚ありました。近隣小学校へチラシを配ったり、近隣商店にチラシを置かせてもらったの、宣伝の努力はしたものの、住宅相談は0件でした。今後も、地域に根差した組合の存在を知ってもらうためにも、住宅デーの宣伝を頑張っていく予定です。



タイル細工に夢中です



職人の技が光ります

【堀井龍二通信員(日暮里1分会)】東日暮里の児童遊園にて日暮里1分会の住宅デーが開催されました。会場に来てくれた小さな女の子達もイミテーションの金魚すくいや、ふうせんヨーヨー釣り、豪華景品付きのお菓子のつかみ取りなど、みんなとても楽しそうに遊んでいました。微笑ましい光景だったので帰る前にお願いで写真を撮らせていただきました。日暮里1分会は唯一飲食企画を開催したため、集客力も強く、特に出来立ての焼きそばが大人気でした。しかし、包丁研ぎの件数を担当者に確認したところ、14件くらいだと聞きました。きっと朝の天気が悪かったため、来場者が少なくなってしまうんだらうねとみんな話していました。来年は天候に恵まれるよう祈ります。

我が家のペット自慢



リラックスしている様子

【神田正紀さん 尾久1分会】我が家のペットを紹介します。名前は「はな」です。7歳の女の子でしっぽが短いのが特徴です。普段は出窓の日の当たるところでいつも寝ていてとても気持ちよさそうです。起きているときに触りすぎると嘸まれます。名前を呼んでも返事してくれません。

それでも見ているだけで癒やされます。はなにいつまでも長生きしてもらえようように毎日お世話をさせていただきます。



土建の制度を知る良い機会になりました

新加入者説明会&懇親会 全体で21人が参加

【小熊賢一 副執行委員長 川東尾久1分会】6月19日、荒川支部会館3階で、新加入者説明会を開催しました。当日は21人の参加がありました。

初めに津田宗久執行委員長から「約11万人の建設業従事者が東京土建に組合員として加入しています。この組織力で職場の環境を良くしていきましょう」と挨拶がありました。その後の組合の制度案内は、紹介用DVDを使用して行われました。

また、田村高広後継者対策部長からは、荒川支部の楽しいイベントの紹介が、服部和美社会保険対策部長からは健康診断受診のお願いや土建国保の優位性を保つ為に要請ハガキ記入の協力の訴え、八木博行厚生文化部長からは「せつかく組

合に入ったのであれば、共济制度を活用して欲しい」と話がありました。

新加入者説明会の後は、町屋駅近くの「名物やきとんとみちゃん」で懇親会が開かれ、食事やお酒を飲みながら、和やかな雰囲気ですべてを深める事ができました。

参加者からは「7月に開催予定の名刺交換会にも是非参加したい」「組合の制度をもっと知りたい」など、早速前向きな話をいただきました。久しぶりの新加入者説明会は、とても充実した時間となりました。



参加者全員で乾杯

平和の大切さについて ～原水禁荒川協議会総会に参加して～

【小熊賢一 教育宣伝部長 川東尾久1分会】6月26日、荒川支部で荒川原水協総会が開催されました。今回は私も参加させていただきました。

原水爆禁止荒川協議会（以下、荒川原水協と略）は、原爆が投下された夏の時期を主に活動しています。戦後79年が経ち、戦争を知らない私たちが、荒川原水協の活動を通じて、戦争の愚かさ、痛みを知ることができ、早急前向きな話をいただきました。久しぶりの新加入者説明会は、とても充実した時間となりました。

今年も荒川支部では、荒川原水協と共に左記の日程で平和活動に取り組みます。

仲間の作品紹介

【教育宣伝部発】今回「四大展」の一つです。は荒川分会に所属の花島ミヨさんの長女である川野・美鳳（かわのびほ）さん。川本名・国枝（くにぎ）さんの作品が第40回産経国際書展の新春展で展示され、その作品を掲載しました。

産経国際書展は、産経新聞社と産経国際書会が主催する書の公募展です。日展、毎日書道展、読売書法展と並ぶ、書の生湊

川野 美鳳

新入書記紹介

始めまして。この度、荒川支部に入局させていただきました。出身は宮城県です。

趣味は推し活や旅行、読書です。休みの日はインドアの日とアウトドアの日を交互にして過ごしています。

大学卒業後は社会福祉法人に入職し、児童養護施設にて勤務していました。学生時代に震災を経験し、その際に建設産業の方々にとても助けていただいた経験から、今度は私が建設産業の方々が安心・安全な生活を送れるようにお手伝いをしたいと思い、この度入局させていただきました。



精一杯頑張ります！

不慣れなことも多く、未熟で、ご迷惑をおかけいたしますがご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。